平成２９年公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告書

砺波市及びその他の公共団体が設置する文化施設、生涯学習施設、花と緑に関する施設並びに散居村に関する施設等で、文化、芸術及び花と緑の振興により、市民の芸術文化活動、生涯学習活動及び花や緑を愛し、守り育てていく活動とともに、散居景観の紹介、保全及び創造並びに農村文化及び伝統文化を継承し、周辺地域を含む自然、人文及び社会の諸事象についての総合的研究を支援し、もって市民の教養と文化を高め、緑豊かな環境づくりと心豊かなまちづくりの推進及び地域社会の健全な発展に寄与するため、平成２９年度事業計画に基づき次のとおり実施した。

１　公益目的事業１

（１）砺波市文化会館事業

普及・鑑賞型事業、参加協働型事業、鑑賞型事業、育成・支援事業、広報・ホールメイト事業、文化交流事業及び共催事業を以下のとおり実施した。

① 普及・鑑賞型事業

公 演 名	ブロードウェイミュージカル「フロッグとトード」
期　日	８月１２日(土)
内　容	童話「ふたりはともだち」が原作。2 匹のカエルを中心に心温まるミュージカルを、川平慈英、鈴木壮麻等が演じた。
備　考	入場者数　４１６人
公 演 名	ザ・チェンバーブラス～N響金管奏者たち～
期　日	９月２４日(日)
内　容	ＮＨＫ交響楽団の金管楽器奏者５名で結成されたアンサンブルの華やかで輝かしい音色、重厚なサウンド、金管楽器の魅力ある演奏会を開催した。
備　考	ワークショップ　１０３人、　入場者数　３９７人
公 演 名	ホーヴァル・ギムセピアノコンサート
期　日	１１月　４日(土)
内　容	ヨーロッパで輝かしい実績を誇るノルウェー出身のギムセさんによる、ベートーヴェンや北欧のプログラムを演奏した。
備　考	入場者数　１３２人
公 演 名	日野皓正クインテッド ライブ イン 砺波
期　日	１１月２６日(日)
内　容	日本を代表するジャズトランペッターの日野皓正。国際的にも高く評価されるオリジナリティーと芸術性溢れる演奏会を開催した。
備　考	入場者数　２６１人
公 演 名	N響メンバーによる木管５重奏
期　日	１２月　９日(土)
内　容	ＮＨＫ交響楽団のトップ奏者が揃う、贅沢なプログラムを、木管５重奏ならではの、温かみのある柔らかな音のグラデーションによる演奏会を開催した。
備　考	ワークショップ　７８人、　入場者数　３１８人

公 演 名	富山県公立文化ホールネットワーク公演事業「ホールシネマ・イン・トヤマ」
期　日	１２／２４(日)
内　容	子供から大人まで楽しめる映画を入場無料で上映した。 ①「ミニオンズ」、②「ＬＩＦＥ！」
備　考	入場者数　４９４人

② 参加協働型事業

公 演 名	オリジナルミュージカル「ニュース・ペーパー」
期　日	３月　３日(土)、４日(日)
内　容	「となみミュージカルキッズを応援する会」と砺波市文化会館が協働して、「地域で作るオリジナルミュージカル」を企画制作し、今年度は、昭和３０年代、町の新聞販売店に住み込みで働く新聞配達の子どもたちと廃園に追い込まれた遊園地を舞台とし、実施した。
備　考	２回公演　１，７１４人
公 演 名	「合唱創造となみ」事業、「となみの合唱祭」
期　日	通　年、３月２５日(日)
内　容	砺波市内の出町小学校合唱クラブ、出町中学校・砺波高校合唱部、社会人合唱団を対象に、様々なワークショップを実施し、３月２５日(日)に、となみの合唱祭で発表を行った。
備　考	ワークショップ回数　３９回、参加者数延べ　１，５３５人 合唱祭入場者　７９０人

③ 鑑賞型事業

公 演 名	砺波市青少年芸術劇場、劇団芸優座公演「ベニスの商人」
期　日	８月２５日(金)
内　容	砺波市教育委員会の助成を受け、情操教育の支援として、市内中学生を対象とした団体鑑賞公演を行った。
備　考	２回公演　１，４６１人
公 演 名	砺波市こども芸術劇場、劇団銀河鉄道「つるのおんがえし」「なしとり兄弟」
期　日	９月　６日(水)
内　容	砺波市教育委員会の助成を受け、保育所・幼稚園児、小学生の情操教育の支援として、演劇公演の団体鑑賞を実施した。 (市内保・幼年長、小学生 1～2 年生対象)
備　考	２回公演　１，７１７人
公 演 名	砺波市こども芸術劇場、劇団虹っ子「花咲き山は花ざかり」
期　日	９月１２日(火)
内　容	砺波市教育委員会の助成を受け、小学生の情操教育の支援として、演劇公演の団体鑑賞を実施した。 （市内小学生 3～6 年生対象）
備　考	２回公演　１，９９５人

④ 育成・支援事業

公 演 名	チューリップパレード２０１７
期　日	４月３０日(日)
内　容	砺波地区の吹奏楽の振興と技術向上を目指しチューリップ公園でパレードを実施した。
備　考	参加団体(小学生～高校)１３団体、参加者数　２８５人

公 演 名	「となみ野児童合唱団」育成事業
期　日	５月から毎月２回
内　容	講師：小幡千恵ほか３人。５月から毎月２回文化会館で練習を行った。また、夏まつりや文化施設ででの発表や、２月には「仲良しコンサート」を開催した。
備　考	受講者市内小学１年生～６年生　１１人
公 演 名	コンサート用ピアノ体験事業
期　日	６月２５日(日)
内　容	コンサート用スタインウェイグランドピアノで、大ホールでの体験演奏を行った。
備　考	参加者数　　７人

⑤ 広報・ホールメイト事業

部 門 名	広報となみ
期　日	隔月(奇数月号)
内　容	自主事業のＰＲ、催物案内を掲載。
備　考	６回
部 門 名	メディア広報（ＫＮＢ）
期　日	毎月第１月曜
内　容	ラジオ番組にて、自主事業等をＰＲ 「ＫＮＢでるラジ」（電話出演４分）にて催物紹介。
備　考	１２回
部 門 名	メディア広報（ＦＭとなみ）
期　日	隔週木曜、金曜
内　容	スクランブルとなみ(収録１０分)にて催物紹介。
備　考	４８回
部 門 名	ホームページ、インターネット広報事業
期　日	随時
内　容	ホームページを随時更新し、自主事業ＰＲ等の情報発信などを実施。
備　考	
部 門 名	ホールメイト事業
期　日	随時
内　容	会員を募集、隔月に催事情報の送付、主催事業５％割引、先行予約販売など実施。催物案内６回送付
備　考	ホールメイト　４９人

⑥ 文化交流事業

部 門 名	２０１７夏まつり「ふるさと盆踊り大会」
期　日	８月１９日(土)
内　容	となみカンナフェスティバル２０１７夏まつりに併せて「ふるさと盆踊り大会」を開催した。
備　考	来場者数 約１，０００人
部 門 名	砺波市文化協会・安城文化協会交流事業
期　日	１１月３日(金･祝)
内　容	砺波市文化協会と安城文化協会の市民文化交流事業の支援を行なった。

	・文芸作品集交換 ・文化祭「民謡の世界」特別出演
備　考	安城民謡保存会出演者数５１人
部 門 名	キラキラミッション 2017
期　日	１２月　１日(金)～１２月２５日(月)
内　容	文化会館前庭にディスプレイを設営した。
備　考	来場者数　約７０，０００人

⑦ 共催事業

公 演 名	みて！あそんで！影絵ワールド in となみチューリップフェア２０１７
期　日	４月２１日(金)～５月　５日(金･祝)
内　容	チューリップフェアの開催に併せ、劇団かかし座による、手影絵ショーや影絵体験、影絵人形づくりを、砺波市文化会館多目的ホールにて毎日開催した。
備　考	参加者数延　２２，２５８人
公 演 名	ＮＨＫ全国学校音楽コンクール　富山県コンクール
期　日	８月　８日(火)、９日(水)
内　容	合唱を通して小学校、中学校、高等学校の児童・生徒の健全な成長と、豊かな感性を育てることを目的に開催した。
備　考	入場者数　２，３００人　(小中高３回公演延)
公 演 名	ＮＨＫ「のど自慢」公開放送
期　日	１０月２１日(土)、２２日(日)
内　容	ＮＨＫのＴＶ番組「のど自慢」の公開放送を実施した。 ２１(土)予選会、２２(日)放送日。
備　考	来場者数延べ　２，５００人

⑧　砺波市文化協会と連携して「第 45 回砺波市文化祭」を開催し、市民が芸能発表できる場を確保するとともに、アマチュア文化団体の育成に努め、地域に根ざした自主的文化活動を支援し、市外の団体との交流を図った。

（２）砺波市文化会館施設管理運営事業

① 施設利用状況

区分		利用日数			利用者数		
		29年度	28年度	利用対比 H29/H28	29年度	28年度	利用対比 H28/H28
大ホール	公益目的利用日数	160日	178日	90%	65,043人	67,016人	97%
	収益目的利用日数	30日	30日	100%			
	利用日数合計	190日	208日	91%			
	利用率%	59%	66%	—			
その他（４部屋）	公益目的利用日数	842日	936日	90%	15,198人	16,240人	94%
	収益目的利用日数	94日	100日	94%			
	利用日数合計	936日	1,036日	90%			
	利用率%	70%	77%	—			
合計	利用日数	1,126日	1,244日	91%	80,241人	83,256人	96%

項目	公益目的事業	収益目的事業	備考
平成２９年度	0.848	0.152	
平成２８年度	0.856	0.144	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 建築・設備機器の管理に万全を尽くすため、舞台機構、空調設備等の保守点検を実施、施設利用者の安全で快適な利用環境確保に努めた。

（３）砺波市美術館事業

企画展事業、常設展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業及び広報事業を実施した。

① 企画展事業

名　称	会　期 （日数）	内　容	入場者数 （人）
開館２０周年記念 ２０１７となみ チューリップフェア 特別展 宮脇綾子アプリケの世界	４／　８（土） ～ ６／　４（日） （５６日間）	ハギレや古布で身近な植物や魚などをモチーフに、温かみ溢れるアプリケを制作した宮脇綾子（1905~1995）の初期から晩年にかけての作品を展示した。 （企画展示室、常設展示室1）	４６，６３６
五島通弘 写真展「砺波野の四季」	４／２１（金） ～ ５／　５（金） （１５日間）	2017チューリップフェア来場者を対象に砺波市生まれの写真家・五島通弘の砺波野をとらえた写真40点を展示した （市民ギャラリー）	
創画会７０周年記念展	７／１５（土） ～ ８／２７（日） （４３日間）	1948（昭和 23）年、日本画表現の自由な挑戦を目指して「創造美術」が結成され、「創画会」へと発展した。創立 70 周年を記念し、秋野不矩、上村松篁、加山又造など創立会員、物故会員、現会員の計 91 名の作品を展示した。　（企画展示室, 常設展示室 2, 3）	２，３２８
開館 20 周年記念特別展 写真家・濱谷 浩	９／　２（土） ～ １０／１５（日） （４４日間）	濱谷 浩（1915～1999）は、戦前戦後を通じて日本の風土とそこに生きる人々を撮影し、その記録性と抒情を強く感じさせる作風で注目を集めた。モノクロプリントと関連資料等で写真家･濱谷 浩の仕事を紹介した。　（企画展示室）	２，２０４
第５回 市民のコレクション展	１１／１８（土） ～ １２／１７（日） （３０日間）	砺波市民の美術愛好家が情熱を傾けて手に入れた作品や長く大切にされてきた作品の中から、近代美術作品を中心に展示した。 （企画展示室）	２，８６７
館蔵品展 特集 林 清納 -祈りと悠久-	１／　６（土） ～ １／２８（日） （２２日間）	砺波市美術館が収蔵する洋画家･林 清納氏の作品を 22 点展示した。この他に作家本人が所蔵する作品 10 点を合わせて紹介した。 （企画展示室）	１，９９６
至高の精神展１９ 横山丈樹	２／　３（土） ～ ３／　４（日） （２９日間）	至高の精神展は、多様な現代美術の分野で活躍している作家を紹介する展覧会。第 19 回目となる今回は、南砺市在住の彫刻家・横山丈樹さんの過去 10 年間で制作した作品 14 点を紹介した。　（市民ギャラリー）	１，０２１

② 常設展事業

名　称	会　期 （日数）	内　容	入場者数 （人）
常 設 展	３３０日間	収蔵品の展示をテーマごとに常設展示室で順次公開した。 常設１　工芸の秀作展　館蔵品展(4/1~4/4) 工芸の秀作展　館蔵品展(6/6~6/12) 工芸の秀作展　砂田正博(7/15~8/27) 工芸の秀作展　十二町薫(9/2~10/15) 工芸の秀作展　館蔵品展(10/17~12/25) 工芸の秀作展　高瀬孝信(12/28~2/18) 工芸の秀作展　館蔵品展(2/20~3/31) 常設２　山田 和展(4/1~4/4) 下保 昭展(4/8~5/5) 藤森兼明展(5/10~6/12) 髙道宏展(9/2~10/15) ジャンルー・シーフ展(10/17~12/25) 井津建郎(12/28~2/18) ロベール・ドアノー展(2/20~3/31) 常設３　稲垣佳保展(4/1~4/4) 清原啓一展(4/8~5/5) 藤森兼明展(5/10~6/12) 藤田和十展(9/2~10/15) 川辺外治と永原廣展(10/17~12/25) 加賀谷武と川井昭夫展(12/28~2/18) 森村泰昌展(2/20~3/31)	６，９９７

③ 芸術文化活動支援事業

名　称	会　期 （日数）	内　容	入場者数 （人）
第１３回 砺波市美術協会会員展	４／　１(土) ～ ４／　２(日) （２日間）	砺波市美術協会会員展。日本画 16 点、洋画 26 点、彫刻 10 点、工芸 19 点、書 29 点、写真 9 点の 6 部門 109 点での作品を展示した。 （企画展示室、市民ギャラリー）	２４９
となみ野美術展２０１７ （第３６回）	６／１７(土) ～ ７／　９(日) （２３日間）	砺波地方の美術作家による総合美術展として、日本画 21 点、洋画 23 点、彫刻 12 点、工芸 30 点、書 16 点、写真 18 点、合計 120 点を展覧した。 となみ野美術大賞「もの思ひ」（熊木明美） （全館）	２，３４４
第１３回砺波市美術展	１０／２１ (土) ～ １１／１２ (日) （２３日間）	砺波市在住・在勤・在学者を対象とした公募展。日本画１２点、洋画３１点、彫刻９点、工芸１８点、書３９点、写真２４点の６部門１３３点を展覧した。 （企画展示室、市民ギャラリー）	２，３８０
第１４回 砺波市美術協会会員展	３／１０(土) ～ ３／３１(日) （２１日間）	砺波市美術協会会員展。日本画 16 点、洋画 26 点、彫刻 11 点、工芸 18 点、書 26 点、写真 13 点の 6 部門 110 点の作品を展示した。 （企画展示室、市民ギャラリー）	１，３４１

④ 教育普及事業

名　称	日　数	内　容	入場者数（人）
子どもの造形アトリエ	随 時（延べ日数　５０日間）	市内の小学校低学年、幼稚園・保育所の年長児を対象に、クラス単位で美術館に親しむ造形あそびなどの体験講座を開催した。	１，３３０
講演会・ワークショップ	随 時（延べ日数　２３日間）	企画展に併せた講演会（ワークショップ、ギャラリートーク）、親子で楽しめる夏のワークショップ等を開催し、子供から大人まで美術の教育普及に努めた。	７５０
調査研究	年 間	美術情報の収集、調査、研究、次年度の企画展の調査と準備を行った。	―

⑤ 広報事業

広　報	年 間	ポスターやチラシの配布、毎月発行の市広報、ＦＭとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、インターネットなどで情報発信を行った。	―

⑥ 砺波市美術振興事業資金を管理し、運用利益を市展の奨励に充て美術の振興に努めた。

⑦ となみ芸術文化友の会の活動を支援し、共同で公開コンサートなどの事業を開催した。

⑧ 建築・設備機器及び収蔵作品の管理に万全を尽くすため、空調設備の保守点検のほか清掃委託等を実施し、設備利用者の安全で快適な利用環境の確保に努めた。

⑨　砺波市美術館事業利用状況

区　分	利用日数			利用者数		
	２９年度	２８年度	利用対比 H29/H28	２９年度	２８年度	利用対比 H29/H28
企画展示室	293 日	253 日	116%	62,345 人	67,189 人	93%
常設展示室	330 日	331 日	99%	6,997 人	7,355 人	95%
市民ギャラリー（自主事業単独使用）	29 日	30 日	97%	1,021 人	1,292 人	79%
市民アトリエ	71 日	66 日	108%	1,850 人	1,879 人	98%
計				72,213 人	77,715 人	93%

＊常設展示室･市民ギャラリーの日数・入場者人数の中にチューリップフェア期間中の数は含んでおりません。

（４）砺波市美術館管理運営事業

① 施設貸与利用状況

区　分	利用日数			利用者数		
	２９年度	２８年度	利用対比 H29/H28	２９年度	２８年度	利用対比 H29/H28
市民ギャラリー	101 日	90 日	112%	10,427 人	7,539 人	138%
市民アトリエ	100 日	101 日	99%	1,715 人	2,148 人	80%
計				12,142 人	9,687 人	125%

（５）松村外次郎記念庄川美術館

企画展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業、常設展事業等を以下のとおり実施した。

① 企画展事業

名　称	会　期 （日数）	内　容	入場者数 （人）
洋画 Sparkling！ －２０１７in 庄川展－	４／　８(土)～ ５／２１(日) （４０日間）	個性豊かな絵画表現に努め、活躍を続けている県内在住の洋画作家の近作新作７３点を展示した。	１，２１３
佐藤忠博彫刻展	６／　３(土)～ ７／１７(月･祝) （３９日間）	南砺市在住の彫刻家の作品展。木彫の大作１７点を展示した。	７０７
日本画燦々 －２０１７in 庄川展－	９／　２(土)～ １０／　９(月･祝) （３３日間）	個性豊かな絵画表現に努め、活躍を続けている県内在住の日本画作家の近作新作を展示した。	９１７
かがやき☆はんが －２０１７in 庄川展－	１０／２１(土)～ １１／２３(木･祝) （２９日間）	様々な版画技法の表現で活躍を続けている県内在住版画作家の近作新作を展示した。	５７６
松村外次郎展	１２／　２(土)～ １／２１(日) （３９日間）	収蔵作品の中から松村外次郎の作品を展示した。	１４６

② 芸術文化支援事業

名　称	会　期 （日数）	内　容	入場者数 （人）
水きらら・人・花展	２／２４(土)～ ３／２５(日) （２６日間）	平成２９年度実技講座受講者による作品８７点を展示した。	４７２

③ 教育普及事業

名　称	会　期 （日数）	内　容	入場者数 （人）
第２４回 中学生清流展	７／２９(土) ～ ８／２０(日) （２３日間）	庄川河畔で開催した中学生写生会の絵を中心に公募し、入選ならびに入賞した作品１００点を展示した。	９５５
みんなあつまれ！ Shogawa となみっ子ランド	1/２７(土)～ 2/１８(日) （２０日間）	砺波市内小学校2年生児童の自由な発想で伸び伸びと描いた作品431点を展示した。	４９４
実技講座	（１３日間）	地域住民のニーズに対応した生涯学習の場として、郷土作家を講師に迎え、実技講座を開催した。	６３５
調査研究	年間	松村外次郎をはじめ郷土作家の調査研究、企画展・常設展の調査と準備を行った。	

④ 常設展事業

名　称	会　期 （日数）	内　容	入場者数 （人）
常設展示	４／　１(土) ～ ３／３１(土) （３１３日間）	松村外次郎の収蔵作品より大作、小品、絵画並びに交流作家、郷土作家の作品を展示（アプローチギャラリーは企画展毎に入れ替え）した。	５，８２３

⑤ 広報事業

広　報	年 間	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報、FMとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、マスコミなどで情報発信を行った。	

⑥ 施設利用状況

項　目	利　用　日　数			観　覧　者　数		
	29 年度	28 年度	利用対比 H29/H28	29 年度	28 年度	利用対比 H29/H28
企 画 展	249 日	254 日	98%	5,480 人	6,774 人	81%
常 設 展	313 日	312 日	100%	5,823 人	7,037 人	83%
実技講座	13 日	12 日	108%	635 人	559 人	114%

（６）庄川水資料館博物館事業

① 常設展示室では、「流木に生きた先人たち　流木と庄川」として、流木作業に携わった流送夫や船頭たちの生活や仕事の様子について展示し、企画展示室では、「川を治め、川を利す　庄川を生きる」のテーマを設け、ふるさと庄川と共に生きた人々の生活資料や、治水・利水・流送などの資料や模型を展示している。また、松原遺跡で発掘された土器などの資料も展示し、人々の暮らしを支えてきた庄川の歴史を学びながら楽しめる場を提供した。

② 通路壁面を利用したミニギャラリーにおいて、安達陽子木彫展、neutral production 展、中学生清流展作品展、松村外次郎展など美術館と連携した企画展を開催し、資料館、美術館

ともに見ていただけるよう努めた。また、庄川町金屋岩黒村出身で、金屋用水路建設と耕地整理により農業発展に尽力した、上田又一氏の業績を紹介するなど、庄川の先人についても紹介した。

展 覧 会 名	会　期 (日数)	内　容	入場者数 (人)
安達陽子 木彫展	４／１５(土)～ ５／２８(日) (４０日間)	砺波市在住の木彫工芸作家：安達陽子の作品１９点を展示した。	１,０３０
neutral production 展	６／１０(土)～ ７／１７(月･祝) (３３日間)	Watershed(分水嶺)をテーマに藪陽介、畠山雅弘による音と映像による作品を展示した。	４１７
中学生清流展作品展	７／２２(土)～ ８／２０(日) (２９日間)	庄川美術館収蔵作品より平成１７年中学生清流展の作品１１点を展示した。	８１６
上田又一展	９／　９(土)～ １１／１９(日) (６２日間)	庄川に貢献した実業家・上田又一の業績を紹介した。	６８１
松村外次郎彫刻展	１２／　２(土)～ １／２１(日) (３９日間)	庄川美術館所蔵の外次郎の作品を展示した。	１０２
庄川中学校 美術部作品展	２／　３(土)～ ２／１８(日) (１４日間)	庄川中学校美術部生徒の作品を展示した。	２７６

③ 施設利用状況

施 設 名	利　用　日　数			観　覧　者　数		
庄川水資料館	29 年度	28 年度	利用対比 H29/H28	29 年度	28 年度	利用対比 H29/H28
	313 日	313 日	100%	3,723 人	4,453 人	84%

（７）庄川水資料館施設貸与事業

① 映像ホール利用状況

年　度	開館日数	映像ホール貸与日数
平成２９年度	313 日	0 日
平成２８年度	311 日	2 日

項　　目	公益目的事業	収益目的事業	備　　考
平成２９年度	1.00000	0.00000	
平成２８年度	0.99361	0.00639	

※貸与日数と各施設面積の積数による。

（８）庄川生涯学習センター事業

① 施設の特色を生かし、公民館連絡協議会や砺波市PTA連絡協議会等の協力を得て、伝統芸能や名作映画等鑑賞する機会を提供した。

公演名	期日	内容	備考
林家正蔵の「噺の会」	７／　２(日)	真打　林家正蔵やゲストの風間杜夫が古典落語を演じた。	入場者数 ２８４人
富山県ホールネットワーク事業 庄川名画祭	７／２６(水) ７／２７(木)	「ペンギンズFromマダガスカル」 庄川４保育所及び庄川小等放課後児童クラブ登録者、市内の親子が鑑賞した。	入場者数延 ３５６人
ﾏｼﾞｼｬﾝコンプレッサー手品祭り2017	１０／２９(日)	ﾏｼﾞｼｬﾝコンプレッサーを中心に北陸各地のマジック愛好家による手品やイリュージョンを鑑賞した。	入場者数 ２９８人
富山県ホールネットワーク事業 庄川名画祭	１２／　９(土)	「最後の忠臣蔵」 市内外の一般者が鑑賞した。	入場者数延 １５８人
TONAMI２０１８ニューイヤーコンサート	１／２１(日)	市内を拠点に活動するコーラスグループやフォークグループによるコンサートを実施した。	入場者数 １１７人

② 広報事業

広　報	通　年	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報、ＦＭとなみ、マスコミなどを通じて情報発信を行った。	

（９）庄川生涯学習センター施設貸与事業

① 施設利用状況

施設名	区分		利用日数			利用者数		
			29年度	28年度	利用対比 H29/H28	29年度	28年度	利用対比 H29/H28
庄川生涯学習センター	多目的ホール	公益目的利用日数	81日	89日	91%	10,323人	11,398人	91%
		収益目的利用日数	17日	17日	100%			
		利用日数合計	98日	106日	92%			
		利用率	33%	35%	－			
	その他(7部屋)	公益目的利用日数	400日	404日	99%	22,552人	23,783人	95%
		収益目的利用日数	183日	196日	93%			
		利用日数合計	583日	600日	97%			
		利用率	28%	29%	－			
	合計	利用日数	681日	706日	96%	32,875人	35,181人	93%
		利用率	28%	29%	－			

項　目	公益目的事業	収益目的事業	備　　考
平成２９年度	0.769	0.230	
平成２８年度	0.764	0.236	

※利用日数と各施設面積の積数による。

②施設・設備機器の保守管理に万全を期し、施設利用者の安全で快適な利用環境の確保に努めた。

２　公益目的事業２

（１）第６６回砺波チューリップフェア事業

① 総括

２０１７となみチューリップフェアは、「未来へと　彩りつなぐ　１００年の花」をテーマに４月２１日（金）から５月５日（金・祝）までの１５日間開催したところ、国内外から目標としていた３０万人を上回る３２万３千人の観光客が訪れ、７００品種３００万本の色彩豊かなチューリップを堪能していただきました。

チューリップの開花については、３月１０日から４月１０日までの１か月間、遮光ネットを施し開花を抑制してきたことに加え、４月中旬の気温が低かったことにより、会期最終日の５月５日まで色とりどりの綺麗なチューリップが咲き誇りました。この間、終日の雨天は１日だけであったことに加え、チューリップの見ごろを会期後半に迎えたことから多くの来場者で賑わいました。また、砺波でチューリップ栽培がはじまって１００年目を記念した展示も行ったところ大変好評でした。

一方、４月３０日、５月２日から４日まで、チューリップフェアの公式ホームページは、一時的にアクセスが集中したため、アクセスできない状況となったことから、簡易サイトへ移行するなどの緊急対応を行いましたが、今後、ＷＥＢサイトにおける情報の提供体制を再検討する必要が生じました。

② 花壇、展示

花壇、展示	内　容
大花壇	チューリップ栽培１００年目を記念して「１００」の文字と県産チューリップを２１万本のチューリップで描いた。
７００品種花壇	原種系のチューリップや希少品種をはじめとした７００品種花壇を四季彩館前に設置した。
花の大谷	雪の大谷をイメージしたチューリップの回廊「花の大谷」は、会期前半と後半で彩りを変化させて、雪解けから春のイメージを創出した。
センチュリー・メモリアル・ガーデン	チューリップ栽培１００年目を記念して、砺波でチューリップ栽培が盛んになった要因の、「水や太陽」のオブジェをチューリップとともに展示した。
水上花壇	砺波で発案された花壇で、ハート型に形作られた色とりどりのチューリップが風に吹かれて揺れる様子が人気であった。
I LOVE 花壇	ハートに囲まれた花壇や鯉恋の宮、I LOVE YOU の写真を撮れるスポットを設置した。
オランダ風花壇	オランダ・キューケンホフ公園と連携し、緑色の芝生に映えるチューリップやワスレナグサなどを組み合わせる技術を取り入れた花壇として人気が高かった。
チューリップファーム（チューリップ畑）	４月２１日から２５日までシャトルバスを運行し、来場者への利便性を図った。
チューリップ花さじき	市内各地区の緑花団体の協力を得て、チューリップをゆっくり鑑賞していただけるよう美術館前に花いっぱいの「さじき席」を設置した。
チューリップ四季彩館	常設展では、香りのあるチューリップを展示して香りを楽しんでいただく「ワンダーアロマガーデン」を開催した。 春季特別企画展「ワールド　オブ　チューリップ」では原種系やオランダ産品種を展示したほか、富山県産品種を出品した。「2016 トルコアンタルヤ国際園芸博覧会」の切花部門で金賞、銀賞に輝いた品種も展示した。

その他施設展示	・砺波市文化会館「みて！あそんで！影絵ワールド」 ・砺波市美術館「宮脇綾子アプリケの世界」五島通弘「砺波野の四季」 ・砺波郷土資料館「砺波にチューリップを咲かせた水野豊造ものがたり」展 ・旧中嶋家「お茶おもてなし」 ・富山県花総合センター「フラワーアニバーサリー　～花束を君に～」

③ ステージ・文化会館イベント

日時・期間	イベント名	実施場所
４／２１(金)	・開会式 ・富山県警音楽隊コンサート	野外ステージ
４／２２(土)	・エフエムとなみラジオ公開放送 ・ＭＩＬＬＥＡ（ミレア）コンサート ・走れ！ミニ列車	野外ステージ 野外ステージ 大花壇通路
４／２３(日)	・走れ！ミニ列車 ・２０１７プリンセスチューリップ表彰式 ・第４３回富山県太鼓打ち競技会	大花壇通路 みんなの広場 文化会館
４／２８(金)	・庭の日公開講座	文化会館ホワイエ
４／２９(土･祝)	・越中民謡のしらべ ・チューリップ踊り	野外ステージ
４／３０(日)	・自衛隊コンサート（海上自衛隊舞鶴音楽隊） ・チューリップパレード	野外ステージ 園内
５／　３(水･祝)	・ジャズコンサート ・出町子供歌舞伎曳山特別公演	野外ステージ 文化会館大ホール
５／　４(木･祝)	・交流都市観光ＰＲ展	みんなの広場
５／　５(金･祝)	・ミニロボットとあそぼ（砺波工業高校） ・となみミュージカルキッズ ・砺波高校吹奏楽コンサート ・砺波工業高校吹奏楽コンサート	みんなの広場 野外ステージ 野外ステージ 野外ステージ

④ 連携イベント

日時・期間	イベント名	人　数
４／２３(日)	高波チューリップまつり	４００人
４／２９(土) ～３０(日)	タピ・ドゥ・フルーとなみ	６，０００人
４／２９(土) ～３０(日)	出町子供歌舞伎曳山祭	１２，０００人
４／２９(土) ～３０(日)	せんだん山そばまつり	３，５００人
５／　３(水･祝) ～　４(木･祝)	庄川木工まつり	１３，０００人

（２）花と緑の振興事業

花と緑の振興を図るため、次のとおり事業を実施した。

① 企画展示

花と緑の普及啓発のため特別企画展として春季は「ワールド オブ チューリップ～原生

地から富山へ～」、夏季にはキッズ企画の「ムーミンの世界展～ヤンソンさんからの贈り物～」、冬季には第３２回春を呼ぶチューリップ展を開催した。

また、小企画展として「第２２回押花展」「秋を彩るハンギングバスケット展」「チューリップ四季彩館スクール作品展」等を開催した。

ア　特別企画展実施報告

	名　称	日数	内　容	人数（人）
春季特別企画展	「ワールド オブ チューリップ～原生地から富山へ～」 ４／１４(金) ～５／　５(金･祝)	２２	原種系と富山県オリジナル品種のチューリップを多く取り入れた展示。原種の希少品種「アクミナータ」や国際園芸博覧会で入賞した県産の「なごり雪」、「春のあわゆき」など特別感のある展示を行った。また、チューリップの香りの違いを楽しめる「香りのモニタリング」を初めて実施し好評を得た。	2,421 ※フェア期間除く
夏季特別企画展	「ムーミンの世界展 ～ヤンソンさんからの贈り物～」 ７／２１(金) ～８／３１(木)	４２	夏休み期間に家族で楽しめる企画として実施。作者ヤンソンさんの紹介、物語に登場するキャラクター紹介のほか、８つの物語を解説パネルやジオラマで紹介するなど、「ムーミンの世界」を表現した。記念撮影スポットやグッズ販売の売上げも好調。	10,606
秋季特別企画展	「第１６回となみ チューリップ球根まつり」 １０／６(金) ～１０／９(月･祝)	４	球根産地砺波をＰＲするイベントとして、県産球根１００品種以上を販売。全品通常価格の２割引きとし、セット商品として皇室献上品種セットや福袋を用意した。球根詰め放題や寄せ植え体験の企画は連日好評を博した。	12,000
冬季特別企画展	第32回春を呼ぶ チューリップ展 ２／　９(金) ～２／１８(日)	１０	促成栽培で咲かせたチューリップ１万本と早春の花々を展示し、バレンタインをイメージした展示を行った。 あわせて、砺波産切花ＰＲ、切花のラッピング体験を行うとともに、ミニＳＬに乗車しながら展示を観覧できるようにした。 また、平日限定で先着１００名にチューリップの切花をプレゼントした。	2,149

イ　小企画展実施報告

	名　称	日数	内　容
風車前広場	「春を彩るハンギング バスケット展」 ４／２１(金) ～５／５(金･祝)	１５	ビオラやゼラニウムなど春の花々を使ったハンギングバスケットを展示した。

ワンダーガーデン	「初夏を彩るコンテナガーデン」 ５／１９(金)～２８(日)	１０	ペチュニアやペラルゴニウムなどを使用した寄せ植えを展示した。
	「香りのハーブ展」 ６／１６(金)～２５(日)	１０	近年人気のある 20 種類のハーブを集め、用途や効能を紹介した。
	「いろいろなペチュニア」 ７／　７(金)～２３(日)	１７	色や形に特徴のあるペチュニアを集め展示した。
セミナールーム	「第２２回　押花展」 ８／４(金)～２７(日)	２４	ふしぎな花倶楽部本部講師の東昌子氏の押花作品約１０点を展示した。
ワンダーガーデン	秋を彩る コンテナガーデン展 ９／　８(金)～２４(日)	１７	コリウスやサルビアなど秋の花々を使った寄せ植えを展示した。
風車前広場	秋を彩る ハンギングバスケット展 １０／　６(金)～１５(日)	１０	日本ハンギングバスケット協会北陸支部の協力によりハンギングバスケット１５点を展示した。
ワンダーガーデン	いろいろな多肉植物 １１／１０(金)～２６(日)	１７	秋になると紅葉するものや肉厚な葉をもつユニークな多肉植物を展示した。
セミナールーム	四季彩館スクール 合同作品展 １２／　１(金)～１０(日)	１０	花の和紙ちぎり絵、三助焼陶芸、水引あそびのお花たちコースの受講生の作品を展示した。
ワンダーガーデン	早春を彩る花々 １／１２(金)～２１(日)	１０	春を呼ぶ花として親しまれているプリムラをはじめ、エリカやスイセン、ヒアシンスなどの寄せ植えを展示した。
	クリスマスローズ展 ２／　２(金)～１１(日)	１０	花の色や形など様々なバリエーションのある魅力的なクリスマスろーうを展示した。
	球根植物のいろいろ ３／　２(金)～１８(日)	１７	原種のチューリップをはじめ、アネモネやラナンキュラスなどいろいろな球根植物を展示した。

② 花と緑に関する教室、講演会の開催
花と緑に親しみ、楽しむため、花と緑に関する教室及び講演会を開催した。

ア　教室実施報告

	名　称	日数	内　容	人数（人）
園芸	花と緑のコース［全１０回］	１０	草花の土作りや防除について、園芸の基礎を学ぶ教室を開催した。	２１
	ハンギングバスケットコース［全３回］	３	季節のハンギングバスケットを作成する教室を開催した。	２３
フラワーアート講座	花の和紙ちぎり絵初級コース［全５回］	５	バラやリンドウなどの花をデザインしたちぎり絵を作製する教室を開催した。	９
	花の和紙ちぎり絵中級コース［全５回］	５	花や植物、自然をテーマにしたちぎり絵の大作を作製する教室を開催した。	１２
	三助焼陶芸コース［全５回］	５	三助焼で花器を作成する講座を開催した。	１１
	水引あそびのお花たちコース［全５回］	５	日本の伝統工芸である「水引」を用いて花を作成した。	９
特別講座	楽しいキク作りコース［全８回］	８	キク苗の定植、剪定、夏に向けての管理など季節ごとの手入れについて学ぶ講座を開催した。	２７

イ　講演会の開催

花と緑の推進と普及を図るため「花と緑の講演会」を開催した。

演　　題「もっとチューリップ～新しい楽しみ方の提案～」１０月１４日（土）
講　　師　井上まゆ美氏（園芸家）
場　　所　四季彩館チューリップホール
参加者数　１５０人

③ 情報の発信

広報となみにおいてチューリップ四季彩館に係る特別展や常設展、園芸講座等に関する情報を掲載した。

④ 緑花に関する事業の推進

市内公共施設や各地区の緑花推進協議会、協定地域へ花苗の配布、地域の花づくり推進補助を行い、地域緑花を推進した。

私たちの夢花壇（市民参画花壇）の推進及び砺波市花と緑のコンクールを行い、緑花意識の高揚に努めた。

砺波花とみどりの少年団や砺波嵐山桜保存会の活動支援を行った。

砺波駅周辺やインターチェンジ付近、庄川ふれあい花街道などにおいて、市街地活性化も含めて緑花推進を図るため、花や樹木の植込み及び維持管理を行った。

花と緑の銀行機関紙等に市内の緑花活動に関する紹介を行うなど、花と緑の砺波市をＰＲした。

砺波市保存樹等保全委員会を開催するともに委員研修を行った。また砺波市内の保存樹等見学ツアーを実施した。

（３）チューリップ四季彩館の管理運営

① 施設の管理

指定管理者として、チューリップ四季彩館の施設管理を適正に行った。年間を通じて展示スペース及びホールの施設管理を行い、照明設備や空調設備、消防設備点検を実施するとともに、自動扉修繕や屋外水銀灯修繕など施設維持管理のための修繕を行った。

ア　施設利用状況（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

区　　分	展　示　室 ※うち台湾利用者数	企 画 展 示	ホール利用
利 用 者 数	５１，６１０人 ※５，５３１人	３２，７７７人	１５，８３０人

② 常設展示の企画、運営

年間テーマを「季節を彩る花々」とし、チューリップパレスのチューリップ展示とともに、季節の花々の展示を行った。

ア　常設展示実施報告

テ　ー　マ	期　　間
季節を彩る花々～春の色～	４／　１（土）～　５／　５（金）
季節を彩る花々～初夏の色～	５／１１（木）～　６／１３（火）
季節を彩る花々～夏の色～	６／１５（木）～　７／１８（火）
季節を彩る花々～盛夏の色～	７／２１（金）～　９／１９（火）
季節を彩る花々～秋の色～ハロウィン	９／２２（金）～　１０／３１（火）
季節を彩る花々～クリスマスの色～	１１／　３（金）～　１２／２５（月）
季節を彩る花々～新春の色～	１２／２７（水）～　２／２０（火）
季節を彩る花々～早春の色～	２／２２（木）～　３／２７（火）

③ 展示植物の育成
四季彩館で栽培した植物を館内装飾として活用し、花展示の充実を図った。

④ 展示花壇及び植栽の管理等
四季彩館周辺樹木や７００品種花壇などの植栽管理を行った。また、屋外展示場にはチューリップフェアで人気を博した「花の大谷」を季節の植物で再現し、「チューリップの宮」を設置するなど、展示の充実を図った。

⑤ 四季彩館への誘客及び広告宣伝事業の実施
チューリップ四季彩館及びチューリップフェアへの台湾観光客の招客を図るため、県内観光業者と連携し台湾に出向して、誘客活動を実施した。また、ベトナムや香港など東南アジアに向けての誘客活動も実施した。
ホームページに、チューリップフェアの専用バナーを設けて情報発信するとともに、フェアの動画（You Tube）、写真などの多様な機能を充実させた。また、英語、中国語（繁体字）のページにより、国外のお客様の誘客と情報発信に努めた。
四季彩館及びチューリップフェアへの誘客のために、動画ＤＶＤ（日本語、中国語）や写真ＣＤを活用し関係機関に配布するなどＰＲに努めた。
四季彩館の展示内容やフェア期間中におけるチューリップの開花情報等をＬＩＮＥ、ブログ、ツイッター、facebook を通じて公開するとともに、新たにインスタグラムに公式アカウントを立ち上げ、積極的に情報提供の充実と誘客を図った。

⑥ 四季彩館の利用促進の実施
四季彩館の利用促進のため、結婚記念撮影やテレビ撮影、ラジオ収録の協力など、新たな利用方法を発信するとともに、年間パスポート会員の会員募集を積極的に行った。
カフェかくれ庵（喫茶店）や（一社）砺波市観光協会売店部門の魅力アップに協力し、四季彩館利用者の満足度の向上に努めた。
また、チューリップホールを積極的にＰＲし、利用促進を図った。

（４）チューリップ公園等の管理運営

① 公園施設及び植栽の管理
指定管理者として、チューリップ公園（約 69,700 ㎡）、フラワーロード（約 2,900 ㎡）、フラワーフロンティアエリア（約 2,800 ㎡）及びその周辺の施設や植栽の管理を適正に行った。特に、チューリップフェアには来場者が多いことから、作業員の人数を適宜増やすなど管理の徹底を図った。
チューリップ公園の通年利用と活性化を目的として、チューリップ朝市、カンナフェスティバル、KIRAKIRA ミッションなどの開催に協力するとともに、イベントに連携した公園作りに努めた。
チューリップ公園には多くの清掃等ボランティアに協力いただくとともに、毎月第２・第４木曜日を「公園清掃美化の日」と定め、チューリップ四季彩館、砺波市文化会館、砺波市美術館及び砺波郷土資料館の職員による清掃活動を行った。

（５）富山県花総合センターの管理運営

① 施設の管理
指定管理者として、富山県花総合センターの施設管理を適正に行った。温室や本館施設の設備点検及び消防設備点検を行うとともに、園内花壇や温室の管理を行った。

② 花まつり、講座等の実施

ア　花まつり等実施報告

名　称	期　間 （日数）	内　容	人　数 （人）
開園３０周年記念・チューリップフェア特別展示「フラワーアニバーサリー～花束を君に～」	４／１４（金） ～ ５／　５（金・祝） （２１日間）	富山県花総合センター開園３０周年と砺波におけるチューリップ栽培１００年を記念して、「フラワーアニバーサリー」をテーマに砺波育成のチューリップや特徴的なスイセンなど、約６０品種２５００本の花々で花束をイメージし装飾展示した。また、研修室では「３０周年のあゆみ」のパネル展示や当センターでの緑花講座受講生及び講師による作品を展示した。	２９，０００
開園３０周年記念・初夏を彩る花まつり２０１７「ユリとギボウシ」	６／　９（金） ～ １１（日） （３日間）	「ユリとギボウシ」をテーマに、日本原産で世界中に広まった植物であるユリ（八重咲きの新品種「マイウエディング」など）１９品種３００本とギボウシ７３品種２００鉢、デルフィニウムやジギタリスなどの初夏の宿根草と草花３７種類８００鉢で本館展示ホールを彩った。研修室では、アメリカギボウシ協会から毎年優秀な品種に対して贈られる「ホスタ　オブ　ザ　イヤー」受賞品種の展示や富山県花総合センターの開園から今までの歴史が一目でわかる「開園３０周年のあゆみ」パネルなどを展示した。また、とやま鉢花生産者組合青年部による花苗販売と寄せ植え体験コーナーを実施した。	４，０００
開園３０周年記念・秋を彩る花まつり２０１７「ダリアとコリウス」	１０／１３（金） ～ １５（日） （３日間）	「ダリアとコリウス」をテーマとし、秋の訪れとともに色鮮やかさを増すダリア７０品種２００株やコリウス３６品種２００株をはじめ、キンギョソウやダイアンサスなどその他草花４４品種１，１００株で本館展示ホールを彩った。また、研修室では平成２９年度県民緑花カレッジ講座季節の山野草コース作品展として、山野草の盆景６０点や、富山県花総合センターの開園から今までの歴史が一目でわかる「開園３０周年のあゆみ」パネルを展示した。このほか、とやま鉢花生産者組合青年部による花苗販売と寄せ植え体験コーナーを実施した。	４，５００

開園３０周年記念・早春を彩る花まつり２０１８「クリスマスローズとプリムラ」	２／１６（金） ～ １８（日） （３日間）	近年急激に品種改良が進み、様々な色や形が現れたことで、早春に咲く宿根草として人気のクリスマスローズや、古くからサクラソウとして親しまれ、冬から春の鉢花の代表であるプリムラ類などの一足早い春の花々で展示ホールを彩った。また、研修室では、促成栽培で開花させた１５０品種のスイセンを展示した。とやま鉢花生産者組合青年部による花苗販売と、戌年にちなみ、カーネーションを使ってプードルをかたどったフラワーアレンジメントを作る体験コーナーを開催した。	２，１００

イ　季節展示実施報告

名　称	期　間 （日数）	内　容
「サイネリア」	３／１７(金) ～ ４／１０(月) （２４日間）	卒業式シーズンに合わせて富山県内でも多く栽培されているサイネリアを展示した。
「ゼラニウム」	５／１２(金) ～ ６／　５(月) （２４日間）	香りや花を楽しむゼラニウム約２０品種を展示した。
「ベゴニア」	６／１６(金) ～ ２６(月) （１０日間）	新品種のベゴニア「ワッパー」「ボサノバ」「サンタクルーズ」などを中心に一重咲きや八重咲き、斑入り葉など多彩なベゴニアを展示した。
「七夕」	６／３０(金) ～ ７／１０(月) （１０日間）	約８ｍの七夕飾り３本とともに、彦星や南十字星など、品種名に「星」を冠した多肉植物を展示した。
「小さな植物で楽しむジオラマ」	７／１４(金) ～ ９／１１(月) （５９日間）	多肉植物を使ったジオラマのディッシュガーデンや涼を呼ぶ観葉植物、人気のインテリア「ハーバリウム」を展示した。
「多肉植物」	９／１５(金) ～ １０／　９(月) （２４日間）	様々な形や葉色を持つ多肉植物のリュウゼツラン科アガベ属とアロエ科ハオルシア属６５品種を展示した。
「キク科の花」	１０／２７(金) ～ １１／１３(月) （１７日間）	スプレーギク、ボサギク、ポットマムなど花の色や形が様々なキク科の花を展示した。

「クリスマス」	１１／１７(金) ～ １２／２５(月) （３８日間）	高さ５ｍのクリスマスツリーに、クリスマスカラーである赤と金のボールオーナメント１，３００個とリースやリボン飾り、サンタやトナカイのオーナメント、１，６００球の電飾等で展示した。また、ツリーの周囲には、県内の生産者が育てたシクラメン４０品種の５００鉢を展示した。
「お正月」	１／　４(木) ～ １／２２(月) （１８日間）	紅白のハボタン８００鉢で戌の絵を模り、商売繁盛の縁起木として江戸時代から好まれているマンリョウ（万両）、センリョウ（千両）、カラタチバナ（百両）、ヤブコウジ（十両）、長寿や繁栄の象徴として貴ばれるナンテン（南天）やオモト（万年青）などの春を呼ぶ吉兆の植物１００鉢を展示した。
「プリムラ」	２／　１(木) ～ １２(月) （１１日間）	贈り物をイメージした展示台にプリムラ類(ポリアンサ、シネンシス、オブコニカ、マラコイデス)を主として、シンビジウムなどを配し、立体的な展示とした。また、傾斜のある展示台にプリムラ・ジュリアンでハート型を描いた展示や、デンファレ３００本で彩ったハート型のオブジェで彩った。
「キク科の花（春）」	３／　９(金) ～ ４／　９(月) （３１日間）	卒業式シーズンに合わせて富山県内でも多く栽培されているサイネリアや、ユリオプス｛ゴールデンクラッカー｝、ミヤコワスレなどの春に咲くキク科の花をリボン花壇状に展示した。また、ツバキやレンギョウ、ジュウガツザクラ、ユキヤナギの枝にイースターエッグを配したアレンジメントを設置した。

ウ　コンテスト等イベント実施報告

名　称	期　間 （日数）	内　容	人　数 （人）
第８回 コンテナガーデン コンテスト	５／２１(日) ～ ６／１１(日) （２１日間） ［植込日 ：５／２１］ ［審査日 ：６／　５］ ［表彰式 ：６／１１］	県民の緑花意識の向上と花の普及を目的として、コンテナガーデンの腕前(デザイン・管理など)を競うコンテストを実施した。５０人の参加者が県内の生産者が育てた花苗４０品種１０００個の中から８個を選び、指定の鉢に植え込み、約２週間後の審査を経て「初夏を彩る花まつり２０１７」最終日まで管理を行った。	５０
夏休みワンコイン体験 コーナー	８／　４(土) ８／　５(日) ８／１８(土) ８／１９(日) ８／２５(土) ８／２６(日)	週替わりで苔玉、ヒンメリで飾るエアープランツ、ハーバリウムのワンコイン体験コーナーを行った。	１０６
クリスマス キッズミニコンサート	１２／　１(金) １０時～	ちゅうりっぷ保育園の園児23名(年長)の出演により、「ラバーズコンチェルト」「チューリップ」の器楽演奏と、クリスマスソングを歌った。ミニコンサート終了後、研修室にて、花育キッズ「クリスマスブーツのプリザーブドフラワーアレンジづくり」を行った。	５０

エ　県民緑花カレッジ講座実施報告

名　称	月　日	内　容	延べ人数（人）
フラワーアレンジメント基礎コース	７／　１(土) １１／２５(土) １２／２３(土) ３／　３(土)	プリザーブドフラワーを使った夏のアレンジメント、プリザーブドフラワーのお正月アレンジメント、ランを主とした生花、鉢物と切花のフラワーアレンジメントの基礎を学ぶ。 ［全４回］	５２
フラワーアレンジメント応用コース	７／　１(土) １１／２５(土) １２／２３(土) ３／　３(土)	プリザーブドフラワーを使った夏のアレンジメント、プリザーブドフラワーのお正月アレンジメント、ランを主とした生花、鉢物と切花のフラワーアレンジメントの応用を学ぶ。 ［全４回］	６８
季節の山野草	５／２０(土) ６／１７(土) ７／２２(土) ９／３０(土)	山野草の育て方、季節の寄せ植えと管理方法を学ぶ。 ［全４回］	４８
洋ランを育ててみよう	５／１３(土) ７／　８(土) ９／１６(土) １１／　４(土)	カトレアの年間管理・ランの栽培管理について学ぶ。 ［全４回］	８８
エレガガーデンの花づくり	４／１５(土) ６／２４(土) ９／１６(土) １０／２１(土)	エレガガーデンの花壇づくり、夏花壇の管理、いろいろなキク、秋植え球根について学ぶ。 ［全４回］	３２
バラを育ててみよう	６／　３(土) ９／　２(土) １１／　４(土) ３／１７(土)	バラの一番花の開花から夏の手入れ、挿し木、夏剪定から秋バラの開花、冬支度と接木、本剪定と一番花までの管理について学ぶ。 ［全４回］	５６
植物スケッチⅠ	５／２８(日) ６／１１(日) ６／２５(日) ７／　９(日)	園内の花木など屋外の季節の花や植物などの植物図について学ぶ。 ［全４回］	４０
植物スケッチⅡ	１／２８(日) ２／１１(日) ２／２５(日) ３／１１(日)	展示温室内の洋ランなどの植物図について学ぶ。 ［全４回］	４０

オ　県民緑花オープン講座実施報告

名　称	月　日	内　容	人　数（人）
県民緑花ｵｰﾌﾟﾝ講座 〈第１～１８回開催〉	４／１５(土) ４／１６(日) ５／２７(土) ６／　３(土) ７／１５(土) ７／２９(土) １０／　７(土) １０／２８(土) １１／１１(土) １１／１８(土) １２／　２(土) １２／１６(土) １２／２４(日) １２／２４(日) ２／　３(土) ２／１０(土) ２／１７(土) ３／１０(土)	「プリザーブドフラワーアレンジメント～母の日～」、春のコンテナガーデンづくり、プロから学ぶ初夏の寄せ植えづくり、プロから学ぶラベンダー＆ハーブの育て方、庭木に利用する樹種の特徴と管理、夏に楽しむテラリウム、プロから学ぶ秋の寄せ植えづくり、いろいろなスイセンと秋植え球根、雪吊りの基礎を学ぶ実技講習、プロから学ぶ冬の寄せ植えづくり、プリザーブドフラワーアレンジメント「クリスマス」、お正月の寄せ植えづくり、フラワーアレンジメント「お正月」(器付き・器持参)、プリザーブドフラワーアレンジメント「ひなまつり」、プロから学ぶ早春の寄せ植えづくり、プロから学ぶクリスマスローズ、花壇・畑の土づくりについての講座を行った。 ［全１８回］	４０４

③ スイセンほ場の管理

現在の保存品種２２０品種について、形質を良好な状態で維持・管理した。４月上旬からの開花期には見ごろ看板を設置し、来園者を開花中のほ場へ誘導してスイセンの魅力をＰＲした。

④ 立体花壇及びモデル花壇、バラ花壇等管理

立体花壇（正面入り口：ウォール）の図柄について、４～６月はビオラを使い開園３０周年記念として「フラワーアニバーサリー～花束を君に～」をテーマにチューリくんが花束を持っている姿を、７月（～１０月）にはベコニアで「チューリ君とリップちゃん」及び３０ｔｈの文字とハートを創出した。

モデル花壇では、とやま鉢花組合で生産された花苗を植栽し良好に管理した。

バラ花壇では５０品種のバラを維持管理して、５月下旬～６月上旬及び１０月下旬～１１月中旬の開花時期には新聞に取り上げられ多数の来園者があった。

⑤ 展示温室の管理

年間を通じ亜熱帯性植物や洋ラン類を良好な状態で維持管理して展示した。

⑥ 富山県花総合センター利用者増への取組

花まつり等イベントや季節展示、花の見頃情報、講座の募集についてのＰＲをチューリップ四季彩館と一体的に行ったほか、広報となみやリップちゃんのブログ、ホームページを活用し相互の連携を図るとともに、ポスターやチラシを配布した。また、イベント開催を案内する看板やのぼり旗を設置しＰＲを行った。

花まつりの開催中に実施した寄せ植え体験コーナーやとやま鉢花生産者組合青年部による花苗の販売が来園者に好評であった。

花まつり以外の期間も季節感のある展示テーマを設け、季節展示を展示ホールにて行った。

⑦ 施設設備の維持管理

噴水用水中ポンプ修理、栽培温室温水配管自動弁修繕、展示温室風除室屋根修繕など修繕を実施した。

３　公益目的事業３

（１）となみ散居村ミュージアムの管理・運営

① 施設・設備の管理・運営

指定管理者として、ミュージアムの施設管理を適正に実施した。敷地内の美化について、樹木防除２回、全面除草４回（県職退職者会によるボランティア含む。）に加え、部分除草、樹木剪定・防除を職員で実施し、施設・設備の修繕について適切に実施した。

施設又は散居景観等の学習・見学について、大学ゼミ、小学校等の教育機関又は生涯学習団体等に対応を行った。また、散居景観の保全活動等について、屋敷林枝打ち研修会や屋敷林植付け研修会を実施した。

砺波商工会議所青年部の協力により、青島保育所・雄神保育所４、５歳児と敷地内花壇のチューリップ球根植えを行った。

社会に学ぶ「１４歳の挑戦」事業で９名の中学生を受入れた。

施設利用状況（３月３１日現在）

区　　分	利用者数		利用対比 H29/H28
	平成２９年度	平成２８年度	
情報館・交流館・伝統館	27,495 人	27,470 人	100%
民具館	4,326 人	3,873 人	117%
合　計	31,821 人	31,343 人	102%

② 展示・施設利用

ア　企画展示等

名　称	期　間（日数）	内　容	人　数（人）
情報館	４／　１(土)～３／３１(土)	エントランスで散居村に関する写真展などを随時開催	１４，８００
民具館	４／　１(土)～６／３０(金)	第３５回企画展 ～となみから　世界から～ 「藤井治紀の軌跡」	１，５３７
	７／　８(土)～１１／２６(日)	第３６回企画展 ～こころの風景を届けます～ 「水上悦子　木版画展」	１，５５１
	１２／　２(土)～３／　４(日)	第３７回企画展 ～折り紙の楽しさ 魅せます 伝えます～ 「柴田智美恵 木村三千子 紙遊び ふたり倶楽部」	９４７
	３／１０(土)～継続中	第３８回企画展 ～切って　描く世界～ 「山本征世の切り絵」	１８０
となみ野散居村フォトコンテスト事業	［表彰式］ ４／２３(日) ［展示］ ４／２２(土)～５／３０(火)	第１７回となみ野フォトコンテスト表彰式 写真巡回展示 （あずまだち高瀬 6/1～6/15、 いのくち椿館 6/16～6/30、 イオンモールとなみ 9/16～9/30）	５，０８７

イ　常設展示

展 示 名	内　容　等
情 報 館	エントランス、ワクノウチにて散居村関係の情報を展示した。
民 具 館	生活・生産用具（国重文）を展示した。

③ となみ野田園空間博物館推進協議会の業務受託
担当者会議、幹事会、総会の開催をした。

ア　散居村学習講座

	月　日	内　容　等	人　数（人）
第１回	６／２４(土)	となみ散居村の歴史 大伴家持生誕１３００年記念 「大伴家持が見たとなみ　～伊久里の森と雄神川～」 講師：高岡万葉歴史館　関　隆司氏	７２
第２回	７／２２(土)	となみ散居村の地域財産再発見 「たまねぎ栽培の特産化と土地改良について」 講師：富山県砺波農林振興センター　向井和正氏 高多康弘氏	４１
第３回	８／２６(土)	となみ散居村の歴史民俗 「城端の町立てと善徳寺を訪ねて」 講師：城端善徳寺　今井千信氏他	５０
第４回	９／１６(土)	となみ散居村の歴史民俗 「散居村の接点 庄川上流域 利賀川流域と御母衣ダムを訪ねて」 講師：砺波散村地域研究所長他	２９
第５回	１０／１５(日)	となみ散居村の地域財産再発見 「バスハイク 城端線をもっと知ろう」 講師：城端線開通 120 年記念実行委員他	５０
第６回	１１／１２(日)	となみ散居村の地域財産再発見 「シンポジウム 城端線開通 120 年記念連続講座 “城端線は何を変えたのか”　どこへ行くとなみ野」 講演者：ひたちなか海浜鉄道社長　吉田千秋氏	５７
第７回	２／１７(土)	となみ散居村を学ぶ 「シンポジウム 砺波と黒部扇状地・散村の動向調査から」 “人口動態から見る砺波と黒部の差異” 講演者：富山大学人文学部准教授　大西宏治氏	１００

イ　学習資料の製作
「あずまだち」クリアファイル、散居村フォトパネル、砺波平野の屋敷林下敷き等。

ウ　第 11 回デジカメ写真コンテスト及び写真展の実施　　応募総数７２８点

エ　「あずまだち高瀬」「いのくち椿館」との連携事業を実施した。

④ 空き家利活用事業の業務受託

地域及び空き家コーディネータと連携して、地域の空き家情報の収集と、空き家提供者と利活用希望者のマッチングを図った。　　相談件数１１５回

地域おこし協力隊が移住体験ツアー（10/7～10/8、2/10～2/11）を企画し、県外から１４名を受入れた。

ア　体験交流施設「佐々木邸」の管理及び利用者の受け入れ

利 用 期 間	利 用 組 数	利 用 人 数 （男女別）
１０６日間	３３組	１１８人 （男６１人・女５７人）

イ　第２のふるさと発見事業として、都市部の大学ゼミ活動の受け入れ

期　間	大　学　ゼミ　名	人　数 （人）
９／　４(月)～　７(木)	福岡女学院大学人文学部 二階堂教授ゼミ	１０
９／　８(金)～１０(日)	富山大学人文学部 日本近代文学（小谷准教授）ゼミ	３０
９／１２(火)～１４(木)	関西学院大学総合政策学部 ヘファナン教授ゼミ	１７
９／２８(木)～２９(金)	金沢大学人間社会学域人文学類 岩田教授ゼミ	１６
１／１２(金)～１３(土)	富山大学人文学部 中井教授ゼミ	１４

⑤ 砺波散村地域研究所事業の業務受託

砺波散村地域研究所の例会などの開催、研究紀要の発刊、所員の研究活動支援。

	月　日	内　容　等	人　数 （人）
第７０回例会	６／１７（土）	研究発表および講演会を開催した。 ○発表 ・「加賀藩の田地割制度と砺波散村」 　－田地割定書に見るムラの実相－ ・「黒部川扇状地の工業化と地域変容」 ・「砺波地方の人口動態」 ○講演 　「ことばが接するところ　富山の方言」 　講演者：国立国語研究所　時空間変異研究系 　　教授　木部暢子氏	８０
高校生対象 地域学習講座	８／　２（水）	・庄川扇状地の扇頂部と扇央部をめぐるバス巡検 ・砺波平野の産業と暮らしに関するまとめと小発 　表	９
中学生対象 地域学習講座	８／　４（金）	・砺波平野の散村と出町（杉木新町）の町立について ・出町（杉木新町）の町立後の変化について ・出町の人口の変化について	１７
小学４年生 対象 地域学習講座	８／　５（土）	・散村の地域環境と暮らしの様子を親子で学ぶ	２０
第７１回例会	１０／２９（日）	研究発表および講演会を開催した。 ○発表 ・「砺波地方のスキ」 ○講演 ・「収蔵資料の活用報告　－事業展開と研究活動の両面から－」 　講演者：奈良県立民俗博物館 　　学芸課主任学芸員　溝邊悠介氏 ・「国重要有形民俗文化財「砺波の生活・生産用具」と富山の民俗」 　講演者：文化庁　伝統文化課　民俗文化財部門 　　文化財調査官　石垣　悟氏	７０
第７２回例会	２／１７（土）	研究発表および講演会を開催した。 ○発表 ・「人口減少がもたらす地域的課題」 　－黒部川扇状地の空き家の実態と対策－ ・「砺波平野散居景観の変化と新たな活用の動向」 ○講演 ・「人口動態から見る砺波と黒部の差異」 　講演者：富山大学人文学部准教授　大西宏治氏 ○シンポジウム ・「21 世紀の砺波平野と黒部川扇状地の調査」	１００

４　収益目的事業１（施設貸与事業）

施設貸与事業は、市民の文化・教養活動や福祉の増進、或は興行・商業宣伝等のために、砺波市民並びにその他の者に各施設を貸与し、利用者の利便を図った。

（１）砺波市文化会館施設貸与事業

① 公益目的以外で大ホール、練習室等の施設の貸与を行った。
１公益目的事業１（２）砺波市文化会館施設管理運営事業　① 施設利用状況表の通り

（２）砺波市砺波農村環境改善センター施設貸与事業

① 施設利用状況

施設名	区分		利用日数			利用者数		
			29年度	28年度	利用対比 H29/H28	29年度	28年度	利用対比 H29/H28
改善センター	多目的ホール	利用日数	日 213	日 233	% 91	人 52,769	人 45,818	% 115
		利用率	65	71	―			
	その他（５部屋）	利用日数	874	911	96	16,154	16,172	100
		利用率	52	54	―			
	合計	利用日数	1,087	1,144	95	68,923	61,990	111
		利用率	54	57	―			

（３）庄川水資料館施設貸与事業

① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

区分	利用者数		
	29年度（人）	28年度（人）	備考
映像ホール	0	82	

（４）庄川生涯学習センター施設貸与事業

① 公益目的以外で多目的ホール、研修室等の施設の貸与を行った。
１公益目的事業１（９）庄川生涯学習センター施設貸与事業　① 施設利用状況表のとおり

（５）チューリップ四季彩館施設貸与事業

① 公益目的以外でホールの施設の貸与を行った。
１公益目的事業２（３）チューリップ四季彩館の管理運営事業　① 施設の管理、ア 施設利用状況・ホール利用状況のとおり

（６）富山県花総合センター施設貸与事業

① 公益目的以外で研修室等の施設の貸与を行った。

（７）となみ散居村ミュージアム事業

① 公益目的以外で交流館等の施設の貸与を行った。

５　収益目的事業２（付帯事業）

付帯事業は、市民の教養や福祉の増進、あるいは美術資料の収集のためにサービスを提供し、もって利用者の利便を図った。

（１）砺波市文化会館付帯事業

① 砺波市文化会館ホールメイト事業は、会員登録を行うことにより、砺波市文化会館事業のチケットを、通常より２週間早くまた５パーセント引きで購入できる先行販売の特典があるサービスを行った。
　また、他施設の公演チケットの受託販売及び施設利用者へのコピーサービス等を行った。

（２）庄川生涯学習センター付帯事業

① 施設利用者へのコピーサービス等を行った。

（３）砺波市美術館図録販売等事業

① 美術展図録、ミュージアムショップでのポスター等の販売及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

（４）庄川美術館図録販売事業

① 美術展図録及び、他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

（５）水資料館付帯事業

① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

② ポストカード等の販売を行った。

（６）チューリップ四季彩館付帯事業

① 花苗及び緑化に関する製品・記念品等の販売を行った。

（７）富山県花総合センター付帯事業

① 花苗や花鉢の販売を行った。

（８）となみ散居村ミュージアム付帯事業

① 散居村等に関する書籍及び物販品の販売を行った。

６　評議員会の開催状況

○第１２回評議員会　平成２９年６月１９日（月）午後２時～　砺波市文化会館　研修室
　議案第２号　平成２８年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告について
　議案第３号　平成２８年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支決算について
　監査報告
　議案第４号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団評議員の選任について
　議案第５号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団理事の選任について

○第１３回評議員会　評議員会の決議があったものとみなされた日　平成２９年９月１８日（月）
　議案第６号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団評議員候補者の選任について
　議案第７号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団理事の選任について

７　理事会の開催状況

○第１６回理事会　平成２９年５月３１日（火）午前１０時～　砺波市文化会館　視聴覚室
　議案第４号　平成２８年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告について
　議案第５号　平成２８年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支決算について
　監査報告
　議案第６号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団評議員候補者の推薦について
　議案第７号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団理事候補者の推薦について
　議案第８号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団第１２回評議委員会の招集について

○第１７回理事会　理事会の決議があったものとみなされた日　　平成２９年６月２７日（火）
　議案第９号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団理事長、副理事長及び常務理事２名の選定について

○第１８回理事会　平成２９年８月３０日（水）午前１０時～　砺波市文化会館　研修室
　議案第 10 号　第６７回砺波チューリップフェア開催基本計画について
　議案第 11 号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団評議員候補者の推薦について
　議案第 12 号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団理事候補者の推薦について
　報告第　１号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団業務執行理事の職務の報告について

○第１９回理事会　平成３０年２月１６日開催
　議案第１号　平成３０年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業計画
　議案第２号　平成３０年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支予算
　議案第３号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団特定費用準備資金保有にかかる事業計画について
　議案第４号　平成２９年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団補正予算（第１号）について
　議案第５号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団嘱託職員等就業規則の制定について
　議案第６号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団就業規則の一部改正について
　報告第１号　公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団業務執行理事の職務の報告について